

2026 MFJ CUP JP-SPORT・フリーフィング資料

ライダーズフリーフィング資料

《走行時の注意事項》

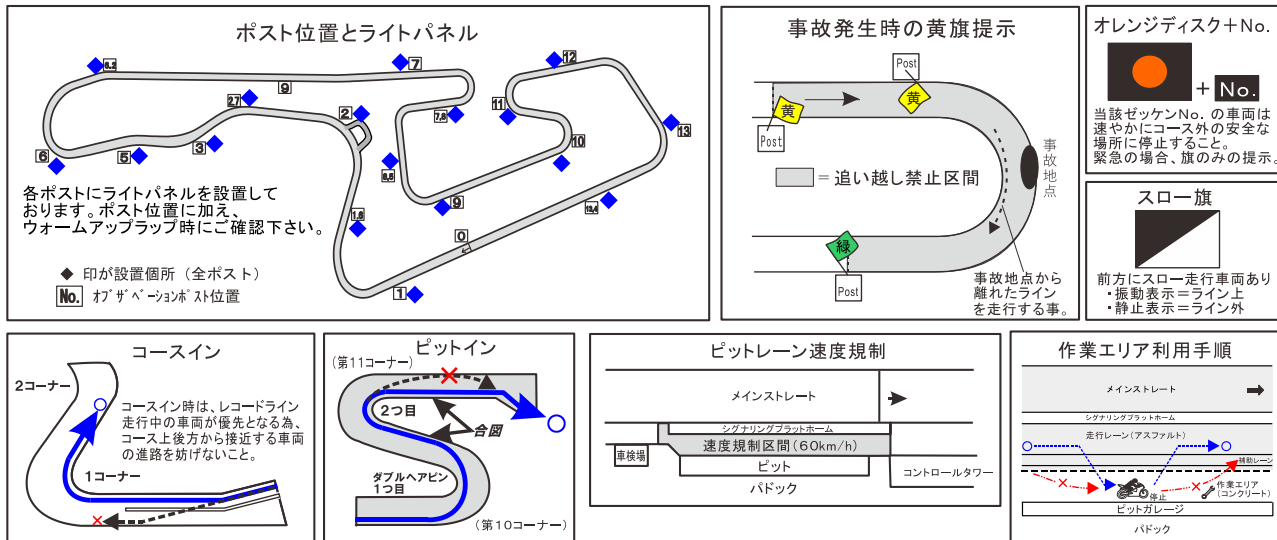
1. スタート進行について→裏面参照
2. 走行中は各ポストより表示されるシグナルフラッグの有無を確認し、黄旗表示（危険）区間では追い越しが無いよう注意すること。また、白旗表示区間も、他の競技車両の追い越しは禁止となるので注意すること。

本レースでは公式通知No.3記載の通りライトパネルを使用する。

※青旗提示の場合は後方より速い車両が迫っているので注意すること。

※チェッカー後全ポストにて注意喚起の為黄旗の静止表示をするが、ダブルチェッカー防止の為の黄旗であり、事故・危険区間や追い越し禁止を示すものではない。

3. ピットイン、コースイン、ピットレーンのルールを遵守する事。 ●合流時の事故が発生しています●



4. ストレート部での蛇行走行等、走路妨害や故意の接触等のないクリーンなレースを心がける事。
(ストレートの事故は重大事故につながる所以要注意)

☆レースの中断について

5. **赤旗が提示された場合は、全車直ちにスロウダウンし（追い越し厳禁）ピットインし、オフィシャルの指示に従うこと。**
赤旗によるレース中断時、転倒やコースアウトしていたライダーで再スタートの意志がある者はオフィシャルに伝えその指示に従うこと。回収車による車両回収を行うので規定の走路外を通過してピットやパドックに戻らないこと。

《賞典対象者・上位車両の注意事項》

6. 各クラス上位車両は、レース終了後に燃料検査・排気音量・車両重量測定・分解検査等の再検査を行う場合があるので、メカニックは準備をしてレース終了後速やかに車検場へ来る事。
7. チェッカー後、各クラス上位3名を対象に暫定表彰を行うのでオフィシャルの誘導に従いコントロールタワー横ウィナーズサークルに向かうこと。**体重計測が終了するまでは水分補給等出来ません。**
ウィナーズサークルでは、指定DLキャップのみを着用し、他の帽子は着用しないこと。
8. レース終了後は自動計測器（トランスポンダー）を大会事務局へ返却すること。賞典対象者はそのレースの正式結果発表後、速やかにライセンス等の身分証明書を持参して大会事務局まで賞典を受け取りに来る事。受け取りにこない場合は賞典を拒否したと見なされるので注意すること。

《パドックピット及びその他での注意事項》

9. **本競技会で使用できる燃料はBパドック内ガソリンスタンドで販売の「idemitsuハイオクガソリン」のみ**となっているので、他銘柄とのブレンド等無いように注意すること。（大会特別規則参照のこと）
10. 各ピットクルーはピットレーンへ出る際には、ピットインしてくる車両がないか安全確認して飛び出しなどの無いよう十分注意すること。また、ピット作業を行うメカニック・ピットサインマンは安全上ふさわしい服装にて行うこと。（極端な厚底シューズ・サンダル履き等要注意！）
11. ピット内は火気厳禁となっているので、火気の取り扱いや喫煙等の無いよう各チームのピット責任者は注意すること。
12. パドック内は、車両・歩行者ともに周囲に十分注意して通行する事。
13. パドック内のスクーター、バイクの二人乗りや危険走行（ウィリー、アクセルターン等）は厳禁。
14. **日曜日は整備エリアが使用できません。必ず土曜日中に撤収してください。**
◎パドック・ピット使用後は、次に使用する人のために各自のゴミ、使用済みタイヤ、等は必ず片付ける事。
(使用済みタイヤは購入した販売店にて処分をしてもらってください。またパドック内タイヤサービスにおいても有料にてお引き取り致しますのでご相談下さい。)

※サーキット近郊にてタイヤ・パーツ・オイル缶・ジュースの空き缶等の放置や投げ捨てが問題となっております。
より良いレース環境を整えて行くためにも各自ご協力の上モラルの向上に努めてください。

- ※ **ルールは全て、競技参加者全員のためのものです。マナーを守り他の人に迷惑をかけないように心がけ、より良い競技会となるようお願いいたします。**

2026 MFJカップ JP-SPORT・フリーフィング資料

決勝レース・スタート手順

1. スタート前チェック

公式予選開始30分前からウェイティングエリアへの入場が可能となります。

必ずウェイティングエリアからオフィシャルの指示に従ってコースインしてください。

2. 決勝レースのリタイア届け

公式予選通過者が、決勝レース出走を断念する場合には、速やかに大会事務局またはスタート前チェック担当車検委員へリタイアの届出を行うこと。

3. スタート進行

スターティンググリッドは、各列3・3・3・・・の階段状グリッド。

状況	手順	備考
ウォームアップラップ開始15分前	サイティングラップ開始 (時間内複数周可能)	WUP10分前まではピットスルーで複数周サイティングラップ可能。 グリッド後方赤旗位置でエンジン停止し手押しでグリッドへ付けること。 グリッドでの給油禁止。
ウォームアップラップ開始10分前	ピットロード出口閉鎖	コースイン出来なかった車両は手押しでプラットホーム開口部よりグリッドに付ける事が出来る。
「5min」ボード提示	プラットホーム開口部閉鎖	グリッドへ着けていない車両はピットレーンからウォームアップラップを開始することが出来る。
「3min」ボード提示	作業終了 クルー退場	引き続き作業を希望する者はピットレーンへ移動。 ライダーと メカニック2名 がグリッドに残る。 タイヤウォーマーは速やかに外すこと。
「1min」ボード提示	エンジン始動	傘持ちピットへ。エンジン始動後はメカニックもピットへ。
「30sec」ボード提示	待機	エンジン始動できない場合はピットレーンに移動。
イエローランプ点滅＋緑旗振動	ウォームアップラップ開始	1周して再びグリッドへ着く。 各ポストから緑旗提示するので、確認すること。
前方に赤旗オフィシャル	グリッド帰着	フロントタイヤ先端 をグリッドラインに合わせる。 エンジンはかけたまま。
赤旗オフィシャル退去	待機	スタート準備
赤灯点灯→消灯	レーススタート	

4. スタート進行時の対処方法

【ウォームアップラップ時】

《エンジンストール等でスタート出来ない》

→手を挙げライダーとオフィシャルに合図→マシンをコース脇に移動→他の全車がウォームアップラップスタート→エンジン始動を試みる→1周しグリッドへ

《マーシャルカーの後になった》

→ピットインする→ピットスタート

《マシントラブル》

→ピットインしマシンの修理が出来る。

【グリッド帰着後】

《グリッドから外れている》

→整列を示すボードが降ろされない→自分の停止位置を確認

《赤旗振動表示》

→「スタートディレイド」のボードが表示→原因車両は脇へ移動→「30秒前」ボードから再開→**レース周回数は1周減算**(発電機の持ち込みは不可)→原因車両はピットレーンへ
※**スタートディレイドの原因となったライダーは、再スタート時にはピットスタートとなる。**但しその要因が判明し、明らかに不可抗力と判断される場合はペナルティを課さない場合がある。

《エンジンストール》

→手を挙げる→他車がスタート後エンジン始動
※始動しない場合は、ピットレーンに誘導され再びエンジン始動を試みる事が出来る。ピットレーンでの始動では、メカニックの補助を受けることが出来る。

●スタート時にストールまたはトラブルなどで通常にスタート出来ない車両がいた場合、プラットホームにいるオフィシャルが後続に黄旗を振動表示する場合がある。

(この場合の黄旗は後方から来る車両に対して注意を促す為に提示され、追い越し禁止の意味ではない。)

☆ジャンプスタート(反則スタート)のペナルティについて

ジャンプスタートのライダーには、「ライドスルーペナルティ」もしくは「競技結果へのタイム加算」のペナルティが課せられる。

「**RIDE THROUGH**」+「ゼッケンNo.」ボード表示 → 速やかにピットイン → ピット前を通過してコースイン。

※「**RIDE THROUGH**」を行わなかった場合は失格となる。

※特に決勝レーススタート後の早い周回はボードが提示されていないか確認すること(ピットクルーとピットインのサインを事前に確認しておく事)。また、ピットインの際ピットロードの速度制限(**60 km/h**)をオーバーしないように注意すること。



※ライドスルーボード提示はスタート3周以内を目処とする。3周以内に提示できない場合または台数が複数の場合は競技結果に30秒加算とする。